

平成30年度 学校説明会用資料

平成30年10月26日(金)

I 本校の学習指導及び進路指導

1. 学習指導	1
2. 進路指導	2
3. 進路状況一覧	4

II 本校の生徒心得

1. 一般的心得	5
2. 校内生活	5
3. 校外生活	5
4. 服装容儀	6

沖縄県立首里東高等学校

本校の学習指導及び進路指導

1. 学習指導

(1) 習熟度別学習指導

一人一人の能力をより良く伸ばすために、習熟度別学習（英語・数学の2教科）を実施しています。2学級を3クラス（標準2、応用1）または3学級を4クラス（標準3、応用1）に展開し授業を実施しています。

(2) 選択科目の設置

1・2学年で基礎的な科目を学習し、3学年では選択制を取り入れ、教科の枠を超えた多教科選択を実施しています。また、体育では種目別選択授業を実施しています。

(3) 特進クラス

① 設置目的

国公立大学、有名私立大学への進学を目的としています。

② 対象学年

各学年に1クラス設置しています。

③ 選抜方法

- ・推薦入試・一般入試（・二次募集）の面接の際、特進クラス志願書を提出して申し込みます。
- ・「特進クラス」希望の推薦内定者は、一般入試同様5教科「国語、社会、数学、理科、英語」を受検します。
- ・選抜は合格（二次募集合格含む）の確定後に行います。5教科の一般入試得点、内申点、勤怠状況を総合的に判断し決定します。

④ 授業の形態

単独クラスを基本とします。ただし2学年の地歴・公民と理科は選択クラス、2学年の数学は習熟度別クラス、3学年の数学は文系・理系にわかれ4科目の選択で実施しています。

⑤ 早朝講座

- ・時間：午前7時30分～午前8時20分。1・2学年は通年、3学年は1学期のみ実施します。
- ・教科：1・3学年では、英・数・国。2学年では英・数・国・理・社で実施しています。
- ・講座内容は、大学入試センター試験を視野に入れた対策を中心に行います。

⑥ 夏期講座

1学年及び2学年は指定講座を受講します。3学年は希望制講座を受講できます。

⑦ 対外模擬試験等

1学年は年3回、2学年は年4回、3学年は年5回の休日実施模擬試験を受験します。（3学年は他に希望制の休日実施模擬試験もあり。）

⑧ 必要経費

「早朝講座」及び模擬試験等に関する経費は徴収します。

平成30年度は、1学年は25,960円、2学年は35,833円、3学年は26,046円でした。

⑨ センター試験

受験を必修としています。平成30年度入試の受験料（3教科以上）は1万8千円でした。

⑩ クラスの入れ替え

各年度の始めに、前年度の教科成績・勤怠状況・実力テストの成績・生徒指導状況などを総合的に見てクラスの入替えを行います。

⑪ クラスの雰囲気作り

「受験は団体戦」を合い言葉に、全員が各々の目標に向かって相乗効果を発揮できるクラス作りを目指しています。

本校の進路指導の取り組みについて

(1) 課外講座(早朝講座または放課後講座)

特進クラスは必修の早朝講座(英・数・国中心)、その他のクラスは希望者を対象に開設しています。

希望者講座

各学年対象：英語・数学・国語・理科・地歴公民・・・各講座週1～2回

全学年：英検・ワープロ・エクセル、公務員試験対策

(2) 夏期講座

夏期休業期間中を前、中、後期に分け(1期：7日間、1コマ60分)特進クラス1、2年生は全員参加で前期、後期講座に参加、その他は希望者を対象に国・数・英・理・地歴公民などの講座を行っています。

(3) 諸テストの実施

校内実力テスト、小論文模試、進研総合学力模試、ベネッセ駿台マーク模試(3年)、河合塾全統マーク模試(3年)等を実施し、進路相談・進路決定の資料としています。

(4) ステップアップ学習会

1学年および2学年の特進クラスの生徒全員ならびに模擬試験受験者を対象に、各学期1回土曜日に実施しています(終日)。

おもに模擬試験の復習解説(英語・数学・国語)が中心ですが、2学年ではセンター試験の過去問題(英語筆記・リスニング、数学)の実施と解説も行っています。

(5) スケジュール管理のための手帳の導入

特進クラス(今年度は1、2年)の生徒を対象に、自己管理の方法を身に付ける目的で手帳(スコラ手帳)の取組を実施。自らの学習計画を作成し、受験までのスケジュール管理と学習計画の計画、実行、評価、再考のサイクルを習慣化しています。

(6) ボールペン・学習ノート使い切り運動

希望者に家庭学習用ノート(ちばり帳面)とボールペンを配布。使い切った生徒はその度に進路部から新しい物をもらい、その記録を取り、最も家庭学習を頑張った生徒を学年末に表彰し賞品(図書券)を授与しています。

(7) 大学と連携した取り組み

「校内説明会」：県内全ての大学・短大から講師を招き、学校の特色や入試制度について校内説明会を開催しています。

(8) 地域社会と連携した取り組み

① インターンシップ：地域の企業、医療・福祉施設、商業店舗の協力の下、2学年を対象に総合学習の一環として行っています。

② 社会人講話：3年生を対象に総合学習の一環として行っている。社会に出る前の心構えや、高校在学中に取り組むべき事などを学びます。

(9) AO入試・推薦入試等における志望理由書並びに小論文試験対策

全学年対象に小論文模試と事前・事後指導を実施。

3学年希望者を対象に志望理由書・自己PR文・小論文個別指導を全職員体制で取り組んでいる。生徒を職員一人一人に割り振りマンツーマンで志望理由書や小論文の指導を行う。また、外部講師による志望理由書書き方講座を実施、これにも約100名の参加がある人気講座です。

(10) 奨学制度の紹介・利用指導（平成30年度）

- 〈種類〉 ① 独立行政法人日本学生支援機構（貸与奨学金・給付奨学金）
② 財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団（貸与奨学金）
③ その他（久米国鼎会、日本教職員弘済会などの給付奨学金）

〈本校の現状〉 ◎ 高校奨学生（利用者数） 15名程度
◎ 大学予約奨学生（希望者数） 126名（卒業生含む）
うち給付型14名

平成30年度は外部講師を招いて生徒・保護者対象に「奨学金講演会」を実施し、奨学金制度や教育ローンの活用方法について紹介しました。

(11) 32期生（平成30年3月卒業生）の進路状況（合格者延べ数）

〈県内〉		〈県外〉	
琉球大学	・・・ 8名	私立大学等	・・・ 47名
名桜大学	・・・ 1名	専門学校	・・・ 18名
沖縄国際大学	・・・ 42名	就職	・・・ 3名
沖縄大学	・・・ 24名		
キリスト教学院大学	・・・ 4名		
キリスト教短期大学	・・・ 7名		
沖縄女子短期大学	・・・ 3名		
沖縄職能開発大学校	・・・ 2名		
専門学校	・・・ 67名		
浦添職業能力開発校	・・・ 1名		
就職	・・・ 31名		

※複数の進路先合格者も含んでいます。

(12) 平成30年度指定校推薦入試状況（平成30年3月卒業生対象）

学校種	指定校	進学数
大学	137校	24名
短大	約45校	3名
専門学校	約100校	8名

※県内・県外の看護専門学校を含む

3 2 期生進路合格状況

延べ人数 辞退含む

(1) 進学・就職合格 (延べ人数)

	性別	大学	短大	専修学校等	大学院	就職	計
県内	男	60	1	33	1	18	113
	女	19	9	34	1	13	76
	小計	79	10	67	2	31	189
県外	男	26	0	11	0	2	39
	女	21	2	7	0	1	31
	小計	47	2	18	0	3	70
その他海外	男	0					0
	女	2					2
	小計	2					2
合計		128	12	85	2	34	261

(2) 大学・短大合格者

県内大学	学校名	男	女	計
	琉球大学	7	1	8
名城大学		1	1	
沖縄国際大学	30	12	42	
沖縄大学	20	4	24	
沖縄キリスト教学院大学	3	1	4	
計	60	19	79	

県内短大	学校名	男	女	計
	沖縄キリスト教短期大学	1	6	7
沖縄女子短期大学		3	3	
計	1	9	10	

県外大学等	学校名	男	女	計
	駿河台大学	1		1
獨協大学	1		1	
聖徳大学		1	1	
明海大学	2		2	
三育学院大学		1	1	
千葉商科大学		1	1	
城西国際大学		2	2	
中央大学	1		1	
東洋大学	2	1	3	
東海大学	1		1	
駒澤大学	1		1	
玉川大学		1	1	
レイクランド大学		1	1	
関東学院大学	2		2	
神奈川工科大学	1		1	
桐蔭横浜大学	1		1	
朝日大学	2		2	
名古屋外国語大学	1		1	
名古屋経済大学	1		1	
龍谷大学	1		1	
近畿大学	1		1	
大阪経済法科大学	1		1	
美作大学		1	1	
岡山理科大学	1		1	
広島国際大学	1		1	
東亜大学	1		1	
徳島文理大学	1		1	
第一薬科大学		1	1	
九州栄養福祉大学	1	1	2	
九州共立大学	2		2	
九州産業大学	1		1	
第一工業大学	1		1	
日本経済大学	1		1	
長崎国際大学		1	1	
崇城大学		2	2	
ハッピーサイエンスユニバーシティ		1	1	
北京語言大学		1	1	
ハンガリー国立ペーチ大学		1	1	
計	26	21	47	

県外短大	学校名	男	女	計
	福岡女子短期大学	1	1	
青山学院女子短期大学	1	1		
計	0	2	2	

(3) 文科省所管外合格者

文科外	学校名	男	女	計
	沖縄職業能力開発大学校	1	1	2
計	1	1	2	

	決定者	進路決定率	休学生除く決定者	卒業者	休学・留学
男子	126	81.82%	81.82%	154	0
女子	96	94.12%	94.12%	102	1
合計	222	86.05%	86.05%	256	1

(4) 専門学校等合格者

県内専門学校等	学校名	男	女	計
	那覇医師会 那覇看護専門学校		1	1
学校法人湘中央学園 浦添看護学校	1	2	3	
おもと会 沖縄看護専門学校		1	1	
おもと会 沖縄リハビリテーション福祉学院	1	2	3	
沖縄歯科衛生士学校		1	1	
専門学校沖縄統合医療学院	4	5	9	
専修学校エルケア医療保育専門学校		1	1	
専門学校ITカレッジ沖縄	1		1	
専修学校インターナショナルデザインアカデミー		1	1	
専修学校インターナショナルリゾートカレッジ		1	1	
パシフィックテクノカレッジ学院	4		4	
総合学園ヒューマンアカデミー那覇校		1	1	
専修学校ビューティモードカレッジ		1	1	
沖縄こども専門学校		2	2	
沖縄ビジュアル外語学院	1	2	3	
沖縄ブライダルリゾートホテル観光専門学校		1	1	
専修学校沖縄大原簿記公務員専門学校	7		7	
専門学校大育(歯科衛生士科)		3	3	
沖縄調理師専門学校	2		2	
琉球調理師専修学校	1		1	
専修学校 沖縄ベトナムワールド専門学校		2	2	
専門学校那覇日経ビジネス	6	5	11	
沖縄情報経理専門学校那覇校		1	1	
大育美容美容専門学校	1		1	
琉美インターナショナルビューティカレッジ	1		1	
専修学校国際電子ビジュアル専門学校	2		2	
中部地区医師会立 ぐしかわ看護専門学校		1	1	
尚学院国際ビジュアルアカデミー	1		1	
計	33	34	67	

県外専門学校等	学校名	男	女	計
	ヒューマンアカデミー総合学園横浜校	1		1
学校法人大原学園大原情報ビジュアル専門学校	1		1	
神田外語学院		1	1	
代々木アニメーション学院	1	1	2	
中日本航空専門学校	3		3	
東京服飾専門学校		1	1	
日本工学院専門学校		2	2	
福岡リゾート&スポーツ専門学校	1		1	
福岡医療専門学校	2		2	
履正社医療スポーツ専門学校	1		1	
日本デザイン学院九州校	1		1	
福岡市医師会看護専門学校		1	1	
広島市医師会看護専門学校		1	1	
計	11	7	18	

(5) 就職状況

県内就職	就職先	男	女	計
	JALスカイエアポート沖縄株式会社	1		1
ANA 沖縄空港株式会社	2		2	
MRO Japan株式会社	1		1	
WBFリゾート沖縄株式会社琉球温泉瀬長島ホテル		1	1	
株式会社 KDDIモバイル沖縄第3セクター	1	1	2	
株式会社 ジェイ・エス・エス		3	3	
株式会社 A K トランスポート	1		1	
株式会社 琉球リアル	1		1	
ANA FESTA 株式会社		2	2	
株式会社 ウェルネス前田経塚デザインセンター		2	2	
糸満ホスピタリティ(株) サンビーズホテル&リゾート沖縄	1		1	
株式会社 サンエー	1		1	
株式会社 イーコード	1		1	
一般社団法人 沖縄保育福祉協会		1	1	
医療法人祥善会 おもろまちメディカルセンター		1	1	
陸上自衛隊	1		1	
社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院	1		1	
株式会社 バイオテクノロジービューティ		1	1	
パークレーディースクリニック		1	1	
自己就職	6		6	
計	18	13	31	

県外就職	就職先	男	女	計
	株式会社 サッポロライオン	1		1
東京エレクトロニクス株式会社		1	1	
国家公務員	1		1	
計	2	1	3	

生徒心得

本校の生徒は、常に首里東高校生としての誇りを堅持し、生徒としての本分をつくすよう心掛け、各自が基本的な生活習慣を確立し、自主自立の精神を培い、相互に信頼し、切磋し、協力し合ってよき校風の樹立に励むとともに、校内校外において高校生としての自覚と責任のもとに行動し、規律ある充実した学校生活をおくるよう努めなければならない。

第1条. 一般心得

1. 学習は生徒の本分である。目標を定め、計画的、自主的な学習に努めること。
2. 学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動に積極的に参加すること。
3. 校則（学則、諸内規、生徒心得等）を守り、規律正しい学校生活を堅持すること。
4. 来客、教職員、生徒同士を問わず挨拶をかわし、言葉使いに気をつけ、礼節をわきまえること。
5. 服装や身なりは、常に品位を保ち、清潔を旨とし、高校生にふさわしい端正なものでなければならない。
6. 男女間の交際は、高校生としての節度を守って公明正大、明朗清純なものでなければならない。
7. 高校生としての良識に反する言動は厳に慎むこと。特に飲酒、喫煙、暴力行為等は厳禁する。

第2条. 校内生活

1. 早登校に努め、おそくとも8時40分までには登校すること。
2. 下校時刻はおそくとも5時（部活動後は7時）とし、居残りの必要なときは関係職員の許可を受けること。
3. 登校してから下校までの間は校外に出ないこと。外出の必要のある場合には、ホームルーム担任または関係職員の許可を得ること。
4. 昼食は弁当を持参し、所定の時間内に校内でとること。
5. 教科書その他必要な教材等は必ず持参し、下校の際は持ち帰り、自宅学習に備えること。
6. 所持品は必ず記名し、保管に留意する。所持品の紛失、盗難、拾得は直ちにホームルーム担任に届け出ること。
7. 校舎、校具、学校図書館など施設備品は大切に取り扱い、万一破損した場合はホームルーム担任または関係職員に届け出ること。
8. 土曜日、日曜日、祝祭日に登校し、施設備品を使用する場合は、必ず関係職員の許可を得ること。
9. 定められた場合以外の火気の使用は厳禁する。本来の目的以外は、消防設備、電気・機械設備などに手を触れてはいけない。
10. 教室および使用した施設の消灯、止栓、戸締まりの点検を行い、不備の場合は、最後に退出する者が責任を持ってこれを行うこと。
11. 教室および分担区域の清掃・美化は互いに協力し、責任を持って行き、一人一人が環境保全・美化に努めること。
12. 学校の許可なく、集会、放送、掲示および金銭の徴収等を行ってはならない。
13. 携帯電話は、校内での使用を禁止する。
14. やむを得ない事由により欠席、欠課、早退、遅刻をするときは、事前、または事後に所定の届け出をすること。
15. 生徒異動（転、退、休、復学）および生徒動態（本籍地、現住所、姓名、家族構成等）に変動のある場合は、直ちにホームルーム担任に届け出ること。
16. 諸会費は所定の期日までに納入すること。

第3条. 校外生活

1. 外出に際しては、必ず行き先などを家族に連絡して明らかにし、無断外泊をしてはならない。
2. 止むを得ず夜間外出するときは、父母などの同伴する場合をのぞき、下記の時間を守ること。
夏季（4月～10月）午後10時まで
冬季（11月～3月）午後9時まで
3. 諸会合、ピクニック、合宿、旅行、その他宿泊を要する研修会等に参加する場合、また止むを得ずアルバイトに就労する場合は、保護者の承諾を得て、必ず学校に届け出ること。
4. 高校生としてふさわしくない不健全な場所（飲食、娯楽、遊技場など未成年者立入禁止場所）への出入りを禁止する。
5. 事故、災害および伝染病が発生した場合は速やかに学校へ届け出ること。
6. 交通道徳や交通規則を守り、交通安全と事故防止に努める。

第4条. 服装容儀

1. 登下校並びに学校行事の場合は原則として制服を着用する。

(ア) 男子制服

○夏季(5月～10月) 黒の標準学生服のズボンに白の標準ワイシャツ。

○冬季(11月～4月) 黒の標準学生服一揃い。

注.(1) 変形の学生服、シャツなどは一切許容しない。

(2) シャツの裾はズボンに入れ、必ずベルトをすること。

(イ) 女子制服

○夏季(5月～10月) 学校指定の制服。

○冬季(11月～4月) 学校指定の制服。

注.(1) 変形の上着、スカート、ネクタイなどは一切許容しない。

(2) 特にスカート丈については膝皿中心とする。

2. 履き物は男女とも運動靴が望ましい。

3. 本校指定の制服、本校指定のジャージ以外の服装は、いかなる場合も認めない。

4. 頭髪は常に清潔にし、高校生らしい髪型にする。パーマ、染髪、脱色、奇髪、エクステンションなどを禁止する。

5. 化粧(マニキュア含む)、装飾品などは一切禁止する。

6. 服装容儀の違反についてはその場ですぐ直す。その場で直せない違反については、生徒指導細則(別紙)に定める。